

菊池川流域治水協議会

計画:「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明(13回、187人)

教育活動

- 流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施
- VR浸水シミュレーションを活用した防災学習(玉名市、9回)
- 防災士養成講座の実施(菊池市等)
- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(2回、約90人)
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話の実施(山鹿市、8回)

訓練活動

- 自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援(山鹿市)

水防活動の支援

水災害対策の支援

- 雨水タンク・浸透ます設置における財政支援(合志市、菊陽町等)

流域治水の広報

- 防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置(6回)
- 流域治水の取り組み内容を紹介するパンフレット、ポスターを作成(熊本県内の河川事務所、熊本県)
- 河川空間の利活用を通じた意識醸成(4箇所、河川協力団体や地域住民で「水辺で乾杯」を実施)

リスク情報等の提供

- 避難所の混雑状況や避難ルート情報を防災情報ポータルで公開(熊本市)
- LINE、アプリ等を活用した防災情報の発信(南関町、合志市等)
- 適切な避難行動を促すためのマイ避難カードを作成、公表(合志市)
- 河川や地下道の監視カメラ映像の公開(熊本市)
- 町総合防災マップの更新、配布(和水町)
- 町管理河川区域において、ハザードマップを周知(大津町)
- 防災重点ため池ハザードマップの作成、公表(玉名市、山鹿市、和水町)
- 3D防災マップを活用した、情報発信の強化(玉名市)

計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援(熊本県)
- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(玉名市、熊本市)
- マイタイムライン作成・周知(山鹿市、和水町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>	<p>「水辺で乾杯」実施 ●</p>	<p>流域治水取り組み パンフ・ポスター作成 ●</p>		
<p>防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置</p>				
<p>流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用しダムの役割等を説明</p>				
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>● ● ● ●</p>	<p>高校生や高齢者等に向けた 防災教育、出前授業 ●</p>	<p>● ●</p>	
<p>ため池ハザードマップの作成、町総合防災マップの更新・配布、監視カメラ映像の公開等</p>				
<p>避難場所や経路等に関する情報の周知、LINE・アプリ等を活用した防災情報の発信</p>				
<p>VR浸水シミュレーションを活用した防災学習</p>				
<p>流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施</p>				
<p>自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援</p>				
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 地域 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>				
<p>要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援</p>				
<p>防災指針（立地適正化計画）の作成・公表</p>				
<p>マイタイムライン作成・周知</p>				
<p>雨水タンク・浸透ます設置における財政支援</p>				

菊池川流域治水協議会

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明(13回、187人)



教育活動

- VR浸水シミュレーションを活用した防災学習(玉名市、9回)
- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(2回、約90人)



- 防災士養成講座の実施(菊池市等)
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話の実施(山鹿市、8回)

訓練活動

- 自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における補助支援(山鹿市)

水防活動の支援

水災害対策の支援

- 雨水タンク・浸透ます設置における補助支援(合志市、菊陽町等)

流域治水の広報

- 河川空間の利活用を通じた意識醸成(4箇所、河川協力団体や地域住民で「水辺で乾杯」を実施)



リスク情報等の提供

- 避難所の混雑状況や避難ルート情報を防災情報ポータルで公開(熊本市)
- 町総合防災マップの更新、配布(和水町)
- 町管理河川区域において、ハザードマップを周知(大津町)
- 防災重点ため池ハザードマップの作成、公表(玉名市、山鹿市、和水町)
- 3D防災マップを活用した、情報発信の強化(玉名市)
- LINE、アプリ等を活用した防災情報の発信(南関町、合志市等)
- 適切な避難行動を促すためのマイ避難カードを作成、公表(合志市)
- 河川や地下道の監視カメラ映像の公開(熊本市)

計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援(熊本県)
- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(玉名市、熊本市)
- マイタイムライン作成・周知(山鹿市、和水町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

菊池川流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明

教育活動

- 流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施
- VR浸水シミュレーションを活用した防災学習(玉名市)
- 防災士養成講座の実施(流域内各自治体)
- 分かりやすい教材等を用いた防災教育
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話の実施(山鹿市)

訓練活動

- 自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援(山鹿市)

水防活動の支援

水災害対策の支援

- 雨水タンク・浸透ます設置における財政支援(合志市、菊陽町等)

流域治水の広報

- 防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置
- 流域治水の取り組み内容をパンフレット、ポスターで周知(熊本県内の河川事務所、熊本県)
- 河川空間の利活用を通じた意識醸成(4箇所、河川協力団体や地域住民で「水辺で乾杯」を実施)

リスク情報等の提供

- 避難所の混雑状況や避難ルート情報を防災情報ポータルで公開(熊本市)
- LINE、アプリ等を活用した防災情報の発信(南関町、合志市等)
- 適切な避難行動を促すためのマイ避難カードを作成、公表(合志市)
- 河川や地下道の監視カメラ映像の公開(熊本市)
- 町総合防災マップの配布(和水町)
- 町管理河川区域において、ハザードマップを周知(大津町)
- 防災重点ため池ハザードマップの作成、公表(玉名市、山鹿市、和水町)
- 3D防災マップを活用した、情報発信の強化(玉名市)

計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援(熊本県)
- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(玉名市、熊本市)
- マイタイムライン作成・周知(山鹿市、和水町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	「水辺で乾杯」実施 ●			
	流域治水取り組みパンフレット・ポスターの周知			
	防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置			
流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用しダムの役割等を説明				
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人	ため池ハザードマップの作成、町総合防災マップの更新・配布、監視カメラ映像の公開等			
	避難場所や経路等に関する情報の周知、LINE・アプリ等を活用した防災情報の発信			
	高校生や高齢者等に向けた防災教育、出前授業			
	自主防災組織等からの依頼による防災講話			
	VR浸水シミュレーションを活用した防災学習			
流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施				
◎訓練活動 地域 個人	自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援			
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援			
	防災指針（立地適正化計画）の作成・公表			
	マイタイムライン作成・周知			
	雨水タンク・浸透ます設置における財政支援			